

日本における中国考古学関係文献目録(1992 年)

廣川 守・江 介也・鈴木敦

1. 本目録は、1992 年 1 月から 12 月に、本で刊行された中国考古学関係文献の目録である。
2. 東洋史・美術史関係の著作については、出土資料および石窟を扱ったものを主として収録した。
3. 本目録作成にあたっては、『季刊考古学』、『史学雑誌』等を参照させていただいた。
4. 項目は、単行本・展覧会図録・論文・論文翻訳・動向・紹介に分けた。なお、書評は除外している。
5. 項目内の文献データは、月毎に著者名による 50 音順で配列した。

【単行本】

1 月

- R. K. G. テンプル著 牛山輝代編訳 『図説 中国の科学と文明』 河出書房新社
- 林巳奈夫 『石に刻まれた世界』(東方選書 21) 東方書店

2 月

- 江頭廣 『古代中国の民俗と日本』 雄山閣
- 好並隆司 『商君書研究』 溪水社
- 水上静夫 『中国古代王朝消滅の謎』 雄山閣

3 月

- 池田温編 『敦煌漢文文献』(講座敦煌 5) 大東出版社
- 殷孫・桃山艸介 『全図録中国書法大全』 マール社
- 塚田康信 『中国書道の基礎的研究』 東方書店
- 西林昭一・浦野俊則 『ヴィジュアル 書芸術全集 1 殷周』 雄山閣
- 林巳奈夫 『中国古代の生活史』 吉川弘文館
- 馬承源監修 樋口隆康・長谷部楽爾・馬承源・西村康彦・中野徹編 『上海博物館 中国・美の名宝⑤ 文人たちの桃源郷～玉器・金銅仏・工芸品』 日本放送出版協会・上海人民美術出版社
- 藤田富士夫 『玉とヒスイー環日本海の交流をめぐってー』 同朋舎出版

- 門田誠一 『海からみた日本の古代』 新人物往来社
- 矢部良明 『中国陶磁の八千年』 平凡社

5 月

- 楠孝雄 『暦と易と文字の話』 ぎょうせい

6 月

- 王仲殊著 西嶋定生監修 尾形勇・杉本憲司編訳 『三角縁神獣鏡』 学生社
- 西川寧 『西川寧著作集 第七巻 雑纂二』 二玄社

7 月

- 西林昭一・浦野俊則 『ヴィジュアル 書芸術全集 2 秦・漢 I (石刻)』 雄山閣
- 林良一 『東洋美術の装飾文様』 同朋舎

8 月

- NHK取材班編 『大モンゴル3ー大いなる都 巨大国家の遺産』 角川書店
- 杉山信三・小笠原好彦編 『高句麗の都城遺跡と古墳ー日本都城制の源流を探る』 京都同朋出版社
- 中西進・安田喜憲編 『謎の王国・渤海』(角川選書 229) 角川書店

9 月

- 宇都木章 『春秋時代の戦乱』(中国史叢書) 新人物往来社
- 王金林 『邪馬台国と古代中国』 学生社
- 佐伯富他編 『宮崎市定全集 22』 岩波書店
- 三宅俊成 『中国東北地区遺跡探訪』 東北亜細亜古文化研究所

10 月

- 汪向荣著 蔵中進・由同来訳 『古代の中国と日本』 桜楓社
- 葛英会・彭浩編著 『楚簡帛文字編』 東方書店
- 西川寧 『西川寧著作集 第九巻 周詩溯源・文苑』 二玄社
- 樋口隆康 『三角縁神獣鏡綜鑑』 新潮社

11 月

- 江上波夫編 『東洋学の系譜』 大修館書店
- 江上波夫 『江上波夫の日本古代史』 大巧社
- 王仲殊著 桐本東太訳 『中国からみた古代日本』 学生社

●岡村秀典監修 宮石智美編 『『小校経閣金文拓本』所載漢式鏡銘文一覧』 三月書房

1 2 月

●王金林 『弥生文化と古代中国』 学生社

●大庭脩 『漢簡研究』 同朋舎

●R. P. ホムメル著 国分直一訳 『中国手工業誌』 法政大学出版局

●三谷茉沙夫 『徐福伝説の謎』 三一書房

【展覧会図録・目録】

2 月

●日本銀行金融研究所編 『貨幣博物館展示品目録』

3 月

●東京国立博物館編 『特別展 曾侯乙墓』 日本経済新聞社

4 月

●NHK大阪放送局編 『正倉院の故郷ー中国の金・銀・ガラスー展』

●大阪府立弥生文化博物館編 『弥生の神々』

●静嘉堂文庫美術館編 『中国陶磁展』

●静嘉堂編 『静嘉堂宝鑑』

●有鄰館学芸部編 『有鄰館精華』

5 月

●NHKちゅうごくソフトプラン編 『大黄河・オルドス秘宝展～中国寧夏古代美術の粹』

●大阪市立美術館編 『清朝工芸の美 秀麗な清朝陶磁を中心に』

7 月

●セゾン美術館・日本経済新聞社編 『シルクロードの都、長安の秘宝』

8 月

●関野雄総監修 『紫禁城の至寶 北京故宫博物院展』 東京都・東京メッセ推進委員会

9 月

●朝日新聞社編 『楼蘭王国と悠久の美女』

- 出光美術館編 『ロックフェラー3世夫妻コレクションーアジアソサイエティ（ニューヨーク）蔵ーアジア美術名品展』
- 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館編 『1500年前のシルクロード 新沢千塚の遺宝とその源流』
- 福岡市博物館 『唐代壁画展』

10月

- 古代オリエント博物館他編 『山東省文物「孔子の原郷四千年展」』 旭通信社
- 五島美術館学芸部 『前漢から元時代の紀年鏡』
- 東京国立博物館編 『日本と東洋の美』
- 栃木県立博物館編 『中国浙江省文物展』
- 大和文華館編 『特別展 中国の金銅仏』

12月

- 京都文化博物館・京都新聞社編 『旅順博物館所蔵品展ー幻の西域コレクションー』

発行月記載無

- 日本経済出版社 『中国麦積山石窟展』
- 林屋晴三総監修 『中国陶磁 2000年の精華 中国名陶展』 日本テレビ放送網
- 吉村怜監修 『蘇州博物館展』 読売新聞社

【論文】

1月

- 安志敏・樋口隆康・森浩一・柳田康雄 他 「筑紫平野は古代ハイテク都市だったか」(『東アジアの古代文化』70, 18～34頁)
- 池田末利 「商末上帝祭祀の問題ー亨祀説の批判と不亨祀の原因ー」(『東洋学報』73・1・2, 1～30頁)
- 岩田敦子 「蜀江錦三種」(『文化財学報』10, 1～18頁)
- 太田幸男 「湖北睡虎池出土秦律の倉律をめぐって・追補」(『東京学芸大学紀要』43, 205～214頁)
- 金関恕・福永光司・松下孝幸・森浩一 他 「古代往来、倭と呉越」(『東アジアの古代文化』70, 123～173頁)
- 樋口隆康 「日本文化の源流を呉越にみる」(『東アジアの古代文化』70, 92～100頁)
- 平□隆郎 「今本『竹書紀年』の性格」(『九州大学東洋史論集』20, 45～68頁)

- 松井嘉徳 「鄭の七穆――春秋世族論の一環として――」(『古代文化』44・1, 1～15 頁)
- 毛昭晰 「呉越からの報告Ⅰ」(『東アジアの古代文化』70, 101～105 頁)

2 月

- 大貫静夫 「極東の先史文化」(『季刊考古学』38, 17～20 頁)
- 気賀澤保規 「中国新出石刻関係資料目録(5)―― 1987 年より 1988 年まで」(『富山大学教養部紀要』24・2, 23～68 頁)
- 鶴間和幸 「古代中華帝国の統一法と地域」(『史潮』新 30, 16～29 頁)
- 出川哲朗 「古越磁の造形(上)」(『日本美術工芸』641, 32～37 頁)
- 西谷大 「中国東部沿岸地域の土器構成から見た新石器文化」(『考古學雑誌』77・3, 89～120 頁)
- 西谷大 「中国東北沿岸の先史文化」(『季刊考古学』38, 25～29 頁)
- 松浦宥一郎 「中国の先史土偶」(『季刊考古学』38, 53 頁)
- 李陳奇 「中国東北の新石器文化」(『季刊考古学』38, 21～24 頁)

3 月

- 浅原達郎 「熱中の人――端方伝――(四)」(『泉屋博古館紀要』8, 54～81 頁)
- 飯島武次 「洛陽西周遺跡雑記」(『平井尚志先生古稀記念考古学論攷』Ⅰ, 97～112 頁)
- 池澤優 「西周春秋時代の「孝」と祖先祭祀について」(『地域研究』10, 57～120 頁)
- 池田温 「中国古代の租佃契(下)」(『東京大学東洋文化研究所紀要』117, 61～131 頁)
- 今村啓爾 「滇王国における男性権力者と女性権力者――邪馬台国と比較して――」(『平井尚志先生古稀記念考古学論攷Ⅰ』, 113～127 頁)
- 妹尾達彦 「唐長安城の儀礼空間」(『東洋文化』72, 1～35 頁)
- 小川満 「敦煌隋代石窟の特徴」(『創大アジア研究』13, 57・72 頁)
- 小山田宏一 「破碎鏡と鏡背重視の鏡」(『弥生文化博物館研究報告』1, 47～64 頁)
- 岳邦湖 「「絲綢之路」與漢塞烽燧」(『関西大学東西学術研究所紀要』25, 23～26 頁)
- 勝部明生 「海獣葡萄鏡の“海獣について」(『阡陵 関西大学博物館学課程創設三十周年記念特集』51～58 頁)
- 加藤真二 「中国細石刃文化の展開とその背景」(『筑波大学先史学・考古学研究』3, 1～29 頁)
- 鎌田茂雄 「中国における仏教の伝播経路に関する実態調査」(『愛知学院大学禅研究所紀要』20, 1～40 頁)
- 川西宏幸 「同型鏡の諸問題――画文帯重列式神獸鏡――」(『古文化談叢』27, 125～140 頁)
- 川本芳昭 「4・5 世紀の中国と古代朝鮮, 日本との関係について」(『佐賀大学教養部

研究紀要』24, 127～136 頁)

●北村優 「日唐都城比較制度試論」(『中国礼法と日本律令制』307～331 頁) 東方出版

●工藤元男 「雲夢睡虎地秦墓竹簡に見える県・道嗇夫と大嗇夫について」(『中国礼法と日本律令制』49-67 頁) 東方出版

●栗原圭介 「周王朝に見る築城の構想と科学思想」(『東洋研究』103, 1～38 頁)

●甲元眞之 「長江と黄河——中国初期農耕文化の比較研究——」(『国立歴史民俗博物館研究報告』40, 1～120 頁)

●小嶋芳孝 「渤海上京龍泉府の瓦——長岡博男コレクションから——」(『平井尚志先生古稀記念考古学論攷』II, 198～206 頁)

●胡平生 「敦煌馬圈灣簡中關於西域史料的辨證」(『関西大学東西学術研究所紀要』25, 27～40 頁)

●胡平生 「中國湖北江陵張家山漢墓出土竹簡概述」(『関西大学東西学術研究所紀要』25, 41.42 頁)

●小南一郎 「天命と徳」(『東方学報』64, 1～59 頁)

●佐藤悦成 「中国寺院遺蹟に関する調査報告(陝西省)」(『愛知学院大学禅研究所紀要』20, 57～78 頁)

●塩沢裕仁 「鬼形神像に関する一考察」(『法政考古学』17, 19～50 頁)

●高橋庸一郎 「睡虎地秦簡『語書』积文注解(中)」(『阪南論集』27-4, 1～7 頁)

●田口勇・斎藤努 「変様蟠紋瓠壺の分析科学的研究」(『泉屋博古館紀要』8, 41～53 頁)

●千葉基次 「中国東北地方の新石器時代の土器」(『東京都埋蔵文化財研究センター 研究論集』11, 1～44 頁)

●鶴間和幸 「秦帝国による道路網の統一と交通法」(『中国礼法と日本律令制』27～48 頁) 東方出版

●富谷至 「王杖十簡」(『東方学報』64, 61～114 頁)

●外山潔 「館蔵舍利容器について(上)」(『泉屋博古館紀要』8, 101～120 頁)

●難波純子 「婦好墓の青銅器彝群と流派」(『泉屋博古館紀要』8, 82～100 頁)

●西川宏 「中国における高句麗考古学の成果と課題」(『青丘学術論集』2, 5～62 頁)

●布目順郎 「楽浪土城出土の絹織物について」(『弥生文化博物館研究報告』1, 31～35 頁)

●林巳奈夫 「中国古代の鼻形と耳形の象徴的図形」(『泉屋博古館紀要』8, 3～40 頁)

●平尾良光 「北魏仏の科学的調査」(『考古学と自然科学』26, 15～28 頁)

●藤田勝久 「戦国秦の領域形成と交通路」(『出土文物による中国古代社会の地域的研究』51～86 頁)

●古田真一 「六朝絵画に関する一考察——司馬金龍墓の漆画屏風をめぐる——」(『美学』168, 57～67 頁)

- 間瀬収芳 「戦国楚国包山大墓の位置づけ」(『出土文物による中国古代社会の地域的研究』25～50 頁)
- 松崎哲 「キジル石窟における壁画年代の再考と第8窟の五弦琵琶からの一考察(序)」(『広島県埋蔵文化財調査センター研究輯録』Ⅱ, 1～14 頁)
- 松沢博 「西夏文・穀物貸借文書私見(2)——天理参考館所蔵夏漢合璧文書断片を中心にして——」(『東洋史苑』38, 1～36 頁)
- 松丸道雄 「西周時代の重量単位」(『東京大学東洋文化研究所紀要』117, 1～59 頁)
- 松本伸之 「北周・保定四年銘青銅如来坐像とその系譜」(『MUSEUM』492, 4～12 頁)
- 松沢博 「西夏文・穀物貸借文書私見(2)——天理図書館蔵夏漢合璧文書を中心として——」(『東洋史苑』38, 1-36 頁)
- 源川進 「瓦当について」(『二松学舎大学研究論集』35, 137～164 頁)
- 宮本一夫 「戦国時代三晋地域の副葬陶器の編年」(『出土文物による中国古代社会の地域的研究』7～24 頁)
- 八木春生 「「勝」についての一考察——「勝」と昇仙思想の関係を中心として——」(『美学美術史論集』9, 69～134) 成城大学大学院文学研究科
- 吉田恵二 「中国古代に於ける円形硯の成立と展開」(『国学院大学紀要』30, 155～201 頁)
- 吉田寅 「中国製塩図の一考察」(『立正史学』71, 1～11 頁)
- 李亨求 「東北アジアの石墓文化について——渤海沿岸北部・東部と韓半島及び日本九州を中心に——」(『橿原考古学研究所紀要 考古學論攷』16, 1～18 頁)
- 李権生 「山東半島の先史文化の編年及び魯中南の関係(下)」(『考古学研究』38-4, 73～88 頁)
- 若江賢三 「秦律における債務労役——居貨贖責について——」(『出土文物による中国古代社会の地域的研究』107～118 頁)
- 渡辺芳郎 「大汶口遺跡墓制考——階層的変異を中心として——」(『史淵』129, 1～46 頁)

4 月

- 大林太良 「呉越の文化と古代日本文化」(『東アジアの古代文化』71, 29～33 頁)
- 小川誠 「殷文化成立試論——隔より二里岡文化の系譜を論ずる——」(『古代学研究』127, 20～37 頁)
- 志賀和子 「いわゆる遊牧騎馬民族における土器」(『考古学与生活文化』167～176 頁) 同志社大学
- 出川哲朗 「古越磁の造形(下)」(『日本美術工芸』643, 58～63 頁)
- 久野美樹 「大仏顔部の制作方法をめぐる東西交流——天梯山石窟とバーミヤーン石窟——」(『MUSEUM』493, 4～19 頁)

- 山崎一雄 「渤海三彩と唐三彩などの釉薬と胎土の比較」(『東洋陶磁』19, 29～34 頁)

5 月

- 東賢司 「漢代鎮墓文考」(『書道研究』52, 144～157 頁)
- 江坂輝彌 「東アジアの中の弥生文化」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』122～124 頁)
- 岡村秀典 「漢墓出土の西域系文物」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』94～96 頁)
- 金関恕 「船を漕ぐ鳥人」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』91～93 頁)
- 来村多加史 「三国時代の武器と武具」(『群雄三国志(歴史群像シリーズ28)』8～11 頁)
- 五井直弘 「比較都市論」(『アジアのなかの日本史 I アジアと日本』151～190 頁)
東京大学出版会
- 國分直一 「黒潮の道」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』129～131 頁)
- 佐川正敏 「中国新石器時代武器浅探」(『東北文化論のための先史学歴史学論集』515～530 頁)
- 七田忠昭 「弥生集落の家と倉—雲南・海南の旅から」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』102～106 頁)
- 白木原和美 「広州と雲南と—考古の旅」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』21～24 頁)
- 白木原和美 「海のシルクロードの考古学」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』118～121 頁)
- 菅谷文則 「海南島の考古学」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』133～137 頁)
- 杉本憲司 「城とその構造」(『群雄三国志(歴史群像シリーズ28)』16～19 頁)
- 高倉洋彰 「蛇鈕印の世界」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』97～101 頁)
- 谷豊信 「仏教伝来と蓮華紋瓦当」(『新版 古代の日本2 アジアからみた古代日本』245～268 頁) 角川書店
- 田村晃一・藤井和夫 「異文明への憧れ」(『新版 古代の日本2 アジアからみた古代日本』221～244 頁) 角川書店
- 丁邦鈞 「発掘された朱然の墓」(『群雄三国志(歴史群像シリーズ28)』87 頁)
- 出川哲朗 「古越磁の動物たち」(『日本美術工芸』644, 66～73 頁)
- 永島暉臣慎 「東アジアの墳丘墓」(『新版 古代の日本2 アジアからみた古代日本』121～140 頁) 角川書店
- 樋口隆康 「海のシルクロードと日本文化」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』116,117 頁)
- 藤井和夫 「東アジアの横穴式墓室」(『新版 古代の日本2 アジアからみた古代日本』141～168 頁) 角川書店
- 森浩一 「西南中国と古代日本」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』87～90 頁)

- 柳田康雄 「もう一つの弥生の源流」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』125～128 頁)
- 横倉雅幸 「サーフィン文化とガラスの道」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』145～147 頁)
- 吉開将人 「「T字環」をめぐる諸問題」(『東南アジア考古学会会報』12, 158～178 頁)
- 和佐野喜久生 「遙かなり,「イネのみち」——彭頭山遺跡の稲粒は語る」(『倭と越—日本文化の原郷をさぐる』111～113 頁)

6 月

- 愛宕元 「唐末五代期における城郭の大規模化」(『東洋史研究』51-1, 29-70 頁)
- 北村優季 「都城」(『古代を考える 唐と日本』) 吉川弘文館
- 杉本一樹 「唐の文物と正倉院」(『古代を考える 唐と日本』259～289 頁) 吉川弘文館
- 高橋庸一郎 「睡虎地秦簡『語書』釈文注解(下 I)」(『阪南論集』28-1, 21～28 頁)
- 向井哲夫 「『老子』の成立時期と成書の経過について——新出土資料等をもとに——」(『東方宗教』79, 1～18 頁)
- 弓場紀知 「ぐるっとまわれば古代がよみがえる(上)」(『日本美術工芸』645, 65～77 頁)
- 李権生 「中国の岳石文化の起源について」(『古代文化』44-6, 1～19 頁)

7 月

- 池田雄一 「中国古代の生活圏と方百里」(『中国の都市と農村』29～59 頁) 汲古書店
- 石見清裕 「単于都護府と土城子遺跡」(『中国の都市と農村』391～424 頁) 汲古書店
- 白須浄真 「トゥルファン古墳群の編年とトゥルファン支配者層の編年——氏高昌国の支配者層と西州の在地支配者層——」(『東方学』84, 111～136 頁)
- 中村圭爾 「建康と三呉地方」(『中国の都市と農村』237～166 頁) 汲古書店
- 八木春夫 「中国南北朝時代における摩尼宝珠の表現の諸相」(『仏教芸術』203, 88～122 頁)
- 弓場紀知 「ぐるっとまわれば古代がよみがえる(下)」(『日本美術工芸』646, 22～27 頁)

8 月

- 阿辻哲次 「特集：漢字の世界 I」(『たて組ヨコ組』35, 2～28 頁)
- 大櫛敦弘 「雲夢秦簡倉律より見た戦国秦の穀倉制度——秦代国家の穀倉制度補論」(『海南史学』30, 47～67 頁)
- 大貫静夫 「豆満江流域を中心とする日本海沿岸の極東平底土器」(『先史考古学研究』2, 47～78)

- 金元龍 「韓国の壁画古墳（一）高句麗壁画古墳の歴史」（『月刊 韓国文化』1992-8, 36～41 頁）
- 豊田久 「成周王朝と「上下」考（上）——「上下の匍有」と「豊作」——」（『鳥取大学研究報告』43-1, 31～42 頁）
- 豊田久 「成周王朝と「上下」考（下）——「上下を匍有して合せて萬邦を受く」（『鳥取大学研究報告』43-1, 43～54 頁）
- 平□隆郎 「戦国紀年再構成に関する試論——君主在位の称元法からする古本『竹書紀年』の再評価」（『史学雑誌』101-8, 1～33 頁）
- 山田明爾 「仏像伝来の古ルート・雲南と海と」（『月刊 しにか』3-8, 74～79 頁）
- 弓場紀知 「玉のルーツをさぐる」（『日本美術工芸』647, 50～55 頁）
- 羅豊 「固原漆棺画に見えるペルシャの風格」（『古代文化』44-8, 40～52 頁）

9 月

- 荒川紘 「龍の科学史（一）」（『静岡大学教養部研究報告人文社会科学』28-1, 73～112 頁）
- 飯島武次 「西周土器の編年研究 ——豊鎬地区の土器——」（『駒沢史学』44, 1～29 頁）
- 内田じゅん子 「長江中流域の中期新石器文化（1）湖南省における大溪文化」（『史観』127, 69～82 頁）
- 倉林眞砂斗 「齐家文化周辺の土器群」（『日本中国考古学会会報』2, 14～42 頁）
- 佐川正敏 「中国の軒平瓦の成形・施文技法を考える——東アジアの造瓦技術の比較研究Ⅰ——」（『日本中国考古学会会報』2, 1～13 頁）
- 高橋庸一郎 「睡虎地秦簡『語書』积文注解（下Ⅱ）」（『阪南論集』28-2, 1～7 頁）
- 豊田久 「周天子と“文・武の胙の賜与について——成周王朝とその儀礼の意味」（『史観』127, 2～17 頁）
- 福永伸哉 「三角縁神獣鏡製作技法の検討——鈕孔方向の分析を中心として——」（『考古学雑誌』78-1, 45～60 頁）
- 福永伸哉 「規矩鏡における特異な一群」（『究班』249～256 頁）
- 山中理 「鶏変じて鳳凰となるかならないかの巻 その一」（『日本美術工芸』648, 34～45 頁）

10 月

- 何艶 「原始・古代の日本と中国のト骨ト甲について」（『人類史研究』8, 1～16 頁）
- 鈴木靖民 「伽耶史に関する一二の問題」（『東アジアの古代文化』73, 15～27 頁）
- 蘇哲 「東魏北齊壁画墓の等級差別と地域性」（『博古研究』4, 1～25 頁）
- 巽善信 「アジアの馬面」（『天理参考館館報』5, 67～76 頁）
- 長谷川道隆 「北魏・隋代の塔基と出土舍利容器——インドのストゥーパを導入して」

(『古文化談叢』28, 181～196 頁)

- 藤田勝久 「漢唐長安の都市水利」(『中国水利史研究』22, 25～54 頁)
- 山中理 「鶏変じて鳳凰となるかならないかの巻 その二」(『日本美術工芸』649, 28～37 頁)

1 1 月

- 金沢陽 「明代の地方窯 景德鎮磁の全国市場形成下のいくつかの地方民窯の動向について」(『青山史學』13, 115～127 頁)
- 亀井明德 「唐代陶磁貿易の展開と商人」(『アジアのなかの日本史 III 海上の道』115～145 頁) 東京大学出版会
- 北村高 「『西域文化資料(大谷文書)』の出土について」(『龍谷史壇』99・100, 1～24 頁)
- 栄原永遠男 「錢貨の多義性」(『アジアのなかの日本史 III 海上の道』63～87 頁) 東京大学出版会
- 佐々木達夫 「舶載遺物の考古学」(『アジアのなかの日本史 III 海上の道』173～210 頁) 東京大学出版会
- 高浜侑子 「中国古代における洞室墓」(『青山史學』13, 87～96 頁)
- 千葉基次 「支石墓の起源」(『青山史學』13, 185～194 頁)
- 量博満 「龍と蛇」(『アジアの龍蛇』125～138 頁)
- 量博満 「石中葬について その1 積石墓」(『上智史学』37, 107～137 頁)
- 松木哲 「沈船は語る」(『アジアのなかの日本史 III 海上の道』211～223 頁) 東京大学出版会
- 山田勝芳 「前漢末三公制の形成と新出漢簡――王莽代政治史の一前提――」(『集刊東洋学』68, 1～17 頁)
- 山中理 「鶏変じて鳳凰となるかならないかの巻 その三」(『日本美術工芸』650, 26～37 頁)
- 李権生 「山東竜山文化の編年と類型――土器を中心として――」(『史林』75-6, 99～135 頁)

1 2 月

- 飯島武次 「洛陽付近出土西周土器の編年研究」(『東京大学文学部考古学研究室研究紀要』11, 81～108 頁)
- 今村啓爾 「Heger I 式銅鼓における2つの系統」(『東京大学文学部考古学研究室研究紀要』11, 109～124 頁)
- 岳邦湖 「額濟納河流域漢代長城烽燧調査綜述」(『漢簡研究国際シンポジウム'92』31～52 頁)

- 義田（簡牘整理小組） 「中央研究院歷史語言研究所藏居延漢簡整理工作簡報」（『漢簡研究国際シンポジウム'92』53～82 頁）
- 義田 「漢簡中人名與《急就篇》人名之相合者」（『漢簡研究国際シンポジウム'92』83～99 頁）
- 吳□驤 「敦煌馬圈湾漢簡之特色」（『漢簡研究国際シンポジウム'92』101～121 頁）
- 初世賓 「甲渠候官新出簡牘中的律令詔制」（『漢簡研究国際シンポジウム'92』1～29 頁）
- 徐萃芳 「中国漢簡的發現与研究」（『漢簡研究国際シンポジウム'92』）
- 張硯著・王建新訳 「中国陝西省耀県の碑林（一）——薬王山彫像碑——」（『佛教藝術』205, 77～90 頁）
- 林巳奈夫 「中国上代の酒器」（『月刊 しにか』3-12, 18～27 頁）
- 彭浩 「湖北江陵出土西漢簡牘概説」（『漢簡研究国際シンポジウム'92』149～171）
- 山中理 「鶏変じて鳳凰となるかならないかの巻 その四」（『日本美術工芸』651, 24～35 頁）
- 李永良・張徳芳 「關於敦煌漢簡中西域史料的幾個問題」（『漢簡研究国際シンポジウム'92』123～147 頁）

【翻訳・訳注】

3 月

- 池田知久 「馬王堆漢墓出土老子甲本卷古佚書五行篇 訳注（4）」（『二松学舎大学論集』35, 103～135 頁）
- 嚴文明著 佐川正敏訳 「中国における稲作農業の起源と伝播」（『弥生文化博物館研究報告』1, 1～18 頁）
- 向安強著 渡部武・小柳美樹訳 「長江中流域新石器時代早期文化の農耕」（『東海大学文学部紀要』56, 17～44 頁）
- 徐光冀著 佐川正敏訳 「鄴城跡の近年の調査成果と北朝大型壁画墓の発見」（『考古学研究』38-4, 102～111 頁）
- 徐萃芳著 岡村秀典訳 「中国考古学の回顧と展望」（『古文化談叢』27, 237～249 頁）
- 田立坤著 穴沢味光訳 「三燕文化遺存の初歩的研究」（『古文化談叢』27, 227～236 頁）

4 月

- 安志敏著 中村潤子・黄曉芬訳 「東シナ海からみた吉野ヶ里遺跡」（『東シナ海と西海文化』43～75 頁） 小学館

5 月

- ケマチャー・テープチャイ著 横倉雅幸訳 「南タイ発見の銅鼓」「付論「タイ出土のⅠ式銅鼓について」」(『東南アジア考古学会会報』12, 88～104 頁)
- 馮先明 金沢陽訳 「耀州窯研究の新収獲」(『出光美術館館報』79, 4・15 頁)

9 月

- 嚴文明著 稲畑耕一郎訳 「中国における金石併用時代の考古学—その新発見からの初歩的な考察」(『日本中国考古学会会報』2, 48～57 頁)
- 俞偉超著 稲畑耕一郎訳 「龍山文化と良渚文化の突然の衰退と変化の原因について」(『日本中国考古学会会報』2, 43～47 頁)

10 月

- 靳楓毅著 穴沢味光訳 「軍都山戎文化墓地の墓制と主要器物の特徴」(『古文化談叢』28, 165～180 頁)

【動向】

5 月

- 松井嘉徳 「1992 年の歴史学界 中国 殷・周・春秋」(『史学雑誌』102-5, 200～207 頁)
- 原宗子 「1992 年の歴史学界 中国 戦国・秦漢」(『史学雑誌』102-5, 207～214 頁)
- 榎本あゆち 「1992 年の歴史学界 中国 魏晉南北朝」(『史学雑誌』102-5, 214～220 頁)
- 北田英人 「1992 年の歴史学界 隋・唐」(『史学雑誌』102-5, 220～227 頁)
- 張静 栗城延江 「特集・1991 年の考古学界の動向 中国」(『考古学ジャーナル』347, 91～99 頁)

7 月

- 谷豊信 「外国考古学研究の動向 中国」(『日本考古学年報』43, 49～52) 日本考古学協会

9 月

- 大島誠二・小沢正人・八木春生 「日本における中国考古学関係文献目録(1991 年)」(『日本中国考古学会会報』2, 63-83)

【紹介】

1 月

- 田辺昭三 「中国「陝西歴史博物館」の完成」(『月刊 しにか』3-1, 77～84 頁)

3 月

- 大庭脩 「90 年代の漢簡研究 (1)」(『書道研究』50, 124～139 頁)
- 岡島秀隆 「中国古塔踏査記――陝西省の現況」(『愛知学院大学禅研究所紀要』20, 79～100 頁)
- 片山章雄 「吐魯番・敦煌発見の『三国史』写本残卷」(『東海史学』26, 33～43 頁)
- 佐川正敏 「中国北朝大型壁画墓の発見」(『考古学研究』38-4, 16 頁)

5 月

- 大庭脩 「90 年代の漢簡研究 (2)」(『書道研究』52, 104～113 頁)

7 月

- 井上秀雄 「渤海遺跡探訪」(『長岡京古文化論叢Ⅱ』23～29 頁)
- 大山みどり 「雲岡石窟雑感 (八)」(『史迹と美術』626, 258～267 頁)

1 0 月

- 江坂輝彌 「中国浙江省南部・瑞安市棋盤山上の支石墓見学記」(『考古学ジャーナル』352, 26～28 頁)
- 袁靖 「中華人民共和国文物保護法改正に関する決定」(『博古研究』4, 51～54 頁)

1 1 月

- 穴沢咏光 「中原の遺跡を訪ねて」(『双葉町歴史民俗資料館研究紀要』1, 22～68 頁)